



東海ハーフマラソン

令和7年12月14日(日)早朝6時半集合で、東海市の名鉄太田川駅付近で開催の東海ハーフマラソンに半田支部会員13名でテープング救護ケアに参加した。

ハーフマラソンと10km、2kmの3種目があり、駅前スタート駅前ゴールという好立地であることと、メイン会場のおもてなしエリアには多数の飲食ブース等が出店し、選手を始め参加者をもてなし、アクセス抜群の駅チカ会場のためもあってか、マラソン参加者数が群を抜いて多く、今回も約5,500人の参加であった。

9時半がハーフマラソンのスタートだが、毎年我々の救護ケアブースには7時前から2時間近くで100人ほどの選手が来場し、すぐに行列ができてしまう。我々は「いかに短い時間で、いかに少ないテープで、いかに効果的なテapingを施すか」が大事と考えており、毎年息つく暇もないほど忙しいが、勉強になりどこか楽しいとも思える状況となっている。そしてゴールしてから「おかげでタイムが縮まりました」「まったく痛みなく走れました!ありがとうございました」と、わざわざ言いに来てくれる選手も毎回おり、とても励みになっている。

今回はトータル120名の選手にケアを施し、疲れたが充実した時間だったと思う。(半田支部広報担当 西松 信明)



令和7年度名古屋市体育功労賞 受賞

冬至を迎えた令和7年12月21日(日)パロマ瑞穂スポーツパーク第3競技場において、公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会、名古屋市体育協会主催「令和7年度名古屋市体育功労賞」の授賞式が行われました。

体育功労賞とは名古屋市の体育振興とその功績に対し栄誉を称えられ表彰される賞で、この度、地域スポーツ及び協会の発展のために顕著な功績のあった者として、名古屋市中川区から推薦された熱田支部の河原 龍秀会員と、選手育成及び協会の発展のために顕著な功績のあった者として、愛知県柔道連盟名古屋柔道協会から推薦された私が受賞しました。

柔道を通じて、青少年の健全なる心身の育成に努めると共に、地域の皆さんの相互の親睦並び理解を深め、今後も柔道の発展に少しでも力になれるよう襟を正した日となりました。(大曾根支部 中村 太)



一宮支部意見交換会

一宮支部の新年意見交換会が、1月11日(日)午後6時10分より、一宮駅iビル7階シビックホールにて開催されました。新年の幕開けにふさわしく、多くの会員が参加し、会場は終始活気に満ちた雰囲気となりました。冒頭では三谷支部長より新年の挨拶があり、日頃の会員の尽力への感謝とともに、今後の支部活動への期待が述べられました。続いて、衆参両院の先生や県議会議員、首長をはじめとする来賓をお迎えし、業界発展への激励を込めた祝辞を頂戴しました。

本会からは藤川会長が出席され、ご来賓の皆様への挨拶に加え、柔道整復師を取り巻く業界の現状や療養費改定に関する説明が行われ、皆さん真剣な表情で耳を傾けていました。その後、県議による乾杯の音頭を皮切りに意見交換が始まり、会員同士や来賓との交流が和やかに進み、余興では川島 秀司会員を中心にbingoゲームが開催され、高額QUOカードをめぐって大きな歓声が上がるなど会場は盛り上がりを見せました。終盤には市議による一丁締めが行われ、午後8時頃、参加者の親睦と結束を深めた有意義な会として幕を閉じました。(一宮支部広報担当 五藤 久貴)

